

## コロナワクチン無料接種

# 高齢者 5月から年2回

## 厚労省 全年代は9月以降

4月以降の新型コロナウイルスワクチン接種について、厚生労働省は22日、65歳以上の高齢者など重症化

リスクが高い人は年内に2回打てるようにする方針を決めた。重症者を減らすことを目的とし、高齢者らに「定期接種」への切り替えは5～8月に1度目の接種機会を設ける。9～12月には全ての年代が接種を受けられるようになり、高齢者らは2度目も可能になる。この日のワクチン分科会で了承された。

無料で打てる予防接種法の「特例臨時接種」を2024年3月まで1年間延長する」とも決めた。生後6カ月～4歳の乳幼児と5～

11歳の子どもの接種も続けられる。24年度以降は対象者が高齢者や基礎疾患がある人、医療従事者や介護従事者を対象とする。ワクチンの有効性が6カ月で下がり始めるとの研究報告があることなどを考慮した。この接種ではオミクロン株対応ワクチンを打つ。

9～12月の接種で利用するワクチンは23年度の早期に決める。それらのワクチンの接種が可能な全ての年齢が対象となる。

分科会のメンバーからは「ワクチンの効果が6カ月から1年で減衰することがあり、春夏に機会を設けるのは良いことだ。年間を通して接種体制が整えられ流行に臨機応変に対応できる」と評価する意見が求められた。

厚労省は今後、接種のスケジュールや接種券の配り方など具体的な実施方法を自治体と協議する。

2023年度以降の新型コロナワクチン接種のイメージ		
65歳以上の高齢者 基礎疾患がある人 医療・介護従事者	接種可能な全ての年代 (高齢者らは2度目も可能)	定期接種も視野に検討 (一部自己負担発生も)
オミクロン株対応 ワクチン使用 無料	使用ワクチンは23年度早期に決める 無料	